

04 設計基礎 A1 (旧 造形演習 A・B)

平面造形

開講年次：学部1年生第1クオーター

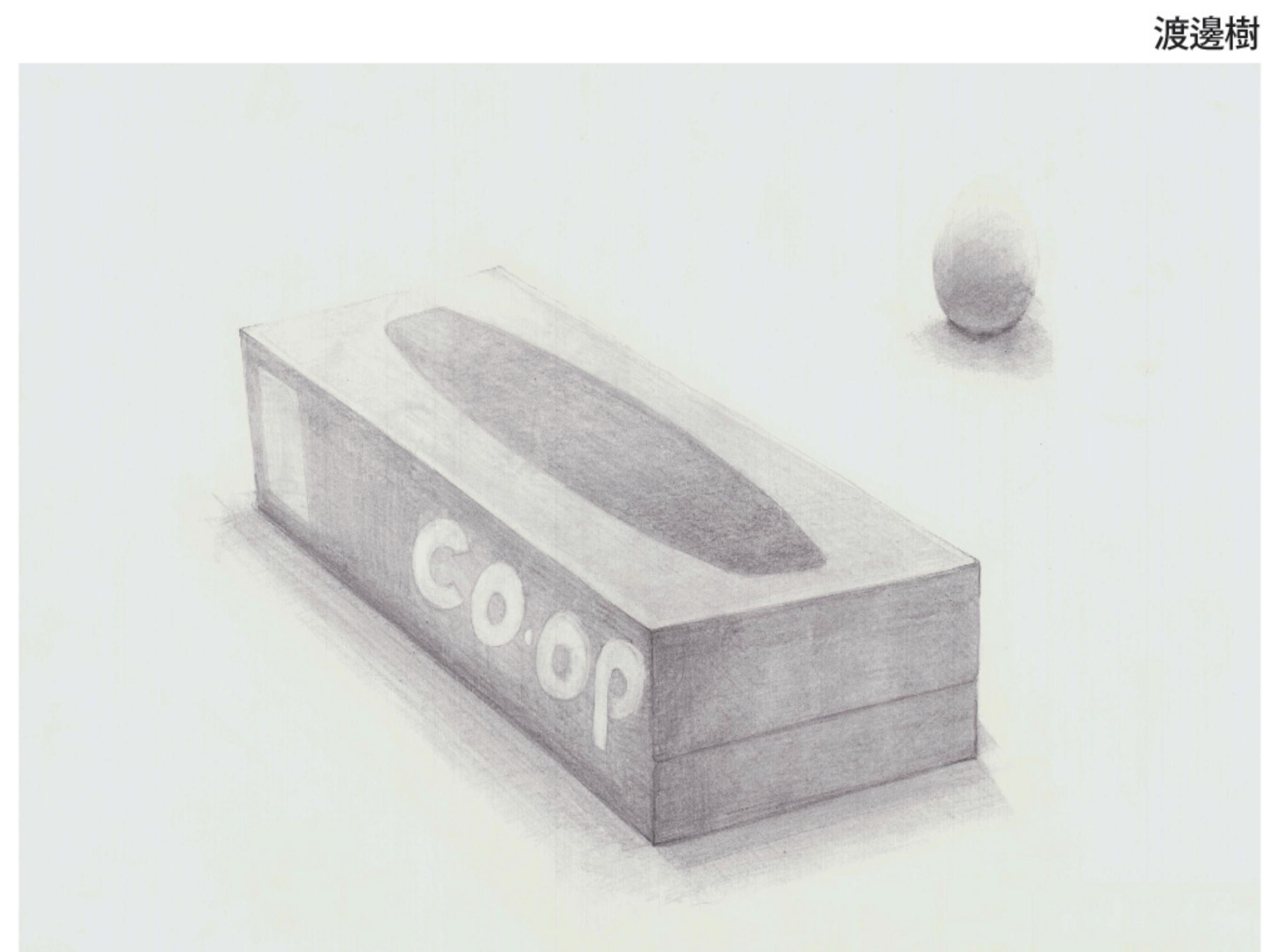
鉛筆デッサン基礎

[担当教員]

藤原洋次郎（平面作家）

- ・2つの静物（ティッシュ箱・卵）を鉛筆によりドローイングする。
- ・位置決め、形づくり、表情の付けかた等鉛筆デッサンの基本を学ぶ。

市原佳純



渡邊樹

立体造形

開講年次：学部1年生第1クオーター

本を使っての解体と再生・創造の造形表現 テーマ：『解体 創造』という element（要素）

[担当教員]

中川猛（造形作家）

21世紀という情報化社会の中では、活字文化としての本に対する捉え方も急速に変化し、紙媒体から、ネットによる情報化が進んでいる。しかし手に取って見たり、読んだりする本の魅力は決して失われることは無いように思われる。特にハードカバーの本のものつ、イメージや独特の魅力は、その内容にも伴い失われることは無い。今回の授業ではその本の持つ魅力や権威などの既成概念を一旦捨てて、その本を形態や質感を持つ物質という視点で捉え、素材として解体し、その本の内容とも関連付けることも含め、手を加えて造形表現に取り組むことを通して、立体的なオブジェとして再生するという課題。「解体とその再生と創造」という造形表現の課題制作を通して、立体造形、空間表現の新たな可能性に取り組む。

- ・厚さ3cm以上のハードカバーの古本を何らかの拘りを持って各自で入手し、その本の書かれている内容についても、自分なりに考察し、自分らしい解体のプロセスを検討して自由に解体し、思うまま自由に再構築する。
- ・本はいずれも貴重なものであり、敬意を持って課題に取り組む。但し解体については、シュレッダーにかけたり、燃やしたり、溶かしてしまう事も可。
- ・基本的に彩色は不要であるが、必要に応じて彩色可

鈴木悠世「心中」



廣瀬陽菜「創造の連鎖」

